

能登杜氏とは

日本酒づくりの統率者であり、酒蔵の最高製造責任者が杜氏です。

その杜氏集団のなかでも、日本四大杜氏※に数えられる能登杜氏の技術は全国で高く評価されています。

濃厚でしっかりとした味わいの特徴とし、「吟醸酒づくりは能登流が一番」と言われるほど、数多くの銘酒を生み出してきました。

その背景には、気候風土や食環境はもちろん、先人のたゆまぬ努力がありました。

「能登はやさしや土までも」と伝えられるように、純粹でねばり強い能登の人情が

酒にまで表れているからではないでしょうか。

今でも多くの名杜氏を輩出する能登町(珠洲市)は、「能登杜氏のふるさと」として広く知られています。

※日本四大杜氏には、岩手県の南部杜氏、新潟県の越後杜氏、兵庫県の但馬杜氏、そして石川県の能登杜氏が選定されている

能登杜氏の歴史

能登杜氏は江戸時代から「能登衆」と呼ばれ、ほかの集団とは異なる独自の技術を伝承してきました。現在では、魂を込めて醸す「能登流の酒づくり」に最新の技術を加え、全国新酒鑑評会で入選を重ねており、その名声を高めています。

《能登杜氏組合のあゆみ》

明治三四年 第一回夏期講習会
 明治三七年 第一回自醸清酒品評会開催
 自醸清酒品評会は日本で最古の歴史といわれている

明治三九年 「珠洲郡杜氏組合発足」
 蔵元相互の連絡と酒造り従事者の統制・団結を図るために設立

大正十年 「能登杜氏組合」に改称
 最盛期を迎える

昭和二年 杜氏四〇二人、蔵元一六四四人との記録が残る

平成十六年 自醸清酒品評会が第一〇〇回を迎える記念大会となり、第十六回日本酒まつりを併催

令和4年酒造年度 能登町支部所属 杜氏在籍分布



能登杜氏組合 能登町支部メンバー

能登町内の蔵元

- 松波酒造
0768-72-0005
おおよやま
代表銘柄 大江山
- 数馬酒造
0768-62-1200
ちくは
代表銘柄 竹葉
- 鶴野酒造店
0768-67-2311
たにいずみ
代表銘柄 谷泉

15

中 鎮夫
なか しずお

出身地 能登町越坂
代表銘柄 徳若
酒造名 万代大澤醸造
0798-34-1300

11

副杜氏
中村 尚人
なかむら なおと

出身地 秋田県
代表銘柄 農口尚彦研究所
酒造名 農口尚彦研究所
0761-41-1116

7

顧問杜氏
中 三郎
なか さぶろう

出身地 能登町越坂
代表銘柄 天狗舞
酒造名 車多酒造
076-275-1165

3

鶴野 薫子
つるの ゆきこ

出身地 能登町鶴川
代表銘柄 谷泉
酒造名 鶴野酒造店
0768-67-2311

16

山内 邦弘
やまうちくにひろ

出身地 京都府
代表銘柄 都美人
酒造名 都美人酒造
0799-42-0360

12

木谷 太津男
きや たつお

出身地 加賀市
代表銘柄 常きげん
酒造名 鹿野酒造
0761-74-1551

8

岡田 謙治
おかだ けんじ

出身地 能登町明野
代表銘柄 天狗舞
酒造名 車多酒造
076-275-1165

4

顧問杜氏
坂口 幸夫
さかぐち ゆきお

出身地 能登町内浦長尾
代表銘柄 宗玄
酒造名 宗玄酒造
0768-84-1314

17

藤田 晶子
ふじた あきこ

出身地 東京都
代表銘柄 車坂
酒造名 吉村秀雄商店
0736-62-2121

13

北川 真治
きたがわ しんじ

出身地 金沢市
代表銘柄 松の花
酒造名 川島酒造
0740-25-2202

9

顧問
山本 輝幸
やまもと てるゆき

出身地 輪島市
代表銘柄 手取川、吉田蔵
酒造名 吉田酒造店
076-276-3311

5

家 修
いえ おさむ

出身地 穴水町
代表銘柄 宗玄
酒造名 宗玄酒造
0768-84-1314

1

畑下 政美
はたした まさみ

出身地 能登町明野
代表銘柄 大江山
酒造名 松波酒造
0768-72-0005

18

高田 賢一
たかだ けんいち

出身地 大阪府
代表銘柄 富士山、白糸
酒造名 牧野酒造
0544-58-1188

14

杉本 和寛
すぎもと かずひろ

出身地 能登町小木
代表銘柄 萩乃露
酒造名 福井弥平商店
0740-36-1011

10

農口 尚彦
のぐち なおひこ

出身地 能登町四方山
代表銘柄 農口尚彦研究所
酒造名 農口尚彦研究所
0761-41-1116

6

渡辺 愛彦
わたなべ なるひこ

出身地 白山市
代表銘柄 日榮
酒造名 中村酒造
076-248-2435

2

栗間 康弘
くりま やすひろ

出身地 東京都
代表銘柄 竹葉
酒造名 数馬酒造
0768-62-1200

